

健康 MRワクチン2期、二種混合の予防接種はお済みですか

健康・保険課 保健予防係 ☎(232)4912

麻しん・風しん(MRワクチン)2期と二種混合(ジフテリア・破傷風)ワクチンの無料接種は、3月末で終了します。対象者は左表のとおりです。

はしか(麻しん)は、特に感染力が強く、重症化する場合があり大変危険です。はしかの治療法はなく、予防接種が最大の予防方法です。まだ接種していない人は、早めに受けましょう。

■接種期限 3月31日
■費用 無料
※接種期限を過ぎた場合、接種費用(1万円程度)は自己負担になります。

種類	対象者
麻しん・風しん混合(MRワクチン)2期	小学校入学前1年間 (平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ)
二種混合(ジフテリア・破傷風)	小学6年生 (平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれ)

接種方法

指定医療機関への事前予約が必要です。指定医療機関は「予防接種だより」や町ホームページで確認してください。

■医療機関に持参する物
母子健康手帳、予診票^(※)

※該当者には昨年4月にお送りしています。お持ちでない人は、母子健康手帳と印鑑を持参し、健康・保険課で再交付の手続きをしてください(武蔵ヶ丘支所では再交付できません)。

1月～2月は「はたちの献血」キャンペーン
みんなで、献血の輪を広げましょう！
400ml献血・成分献血にご協力ください。



ご協力をお願いします！
けんけつちゃん

福祉 児童手当の手続きは早めにお願ひします

福祉課 子育て支援係 ☎(232)4913

児童手当を受給するためには、請求者の申請が必要です。福祉課または武蔵ヶ丘支所で手続きを行ってください。なお、公務員は勤務先で手続きを行ってください。

新規の手続きが必要な場合

- ・受給者が菊陽町に転入した場合
- ・受給者が公務員ではなくなった場合
- ・児童が生まれた場合
- ・新たに児童の養育をするようになった場合

児童手当は、申請手続きをした翌月分から受給することができます。里帰り出産などで、住所地以外の市町村に出生届出をした場合、住所地の市町村で児童手当の手続きが遅れることがあります。その場合、さかのぼって受給はできませんのでご注意ください。

変更の手続きが必要な場合

- ・町内で転居した場合
- ・受給者または児童の氏名を変更した場合
- ・児童手当の振込先の変更を希望する場合(受給者本人の口座に限り)

消滅の手続きが必要な場合

- ・受給者が町外へ転出した場合(転入先の市町村では、受給のための手続きが必要です)
- ・児童を養育しなくなった場合
- ・受給者などが死亡した場合
- ・児童と別居するようになった場合
- ・受給者が公務員になった場合

※手続きは15日以内に行ってください(手続きが遅れると、手当をもらえない月が発生することがあります)。それぞれの場合で、必要な書類があります。詳しくは、お問い合わせください。



インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザの流行シーズンに入りました。空気が乾燥しがちな室内では、咳を伴う風邪はとて苦しいものです。風邪をひいたら、できるだけ暖かい室内で過ごすようにし、手洗いやうがい、咳エチケットなどを心掛け、感染予防に努めましょう。

インフルエンザ予防法

- ①感染経路を絶つ
 - ・できるだけ人混みは避けましょう。
 - ・こまめな手洗いやうがいを習慣づけ、マスクを着用しましょう。
 - ・室内では適度な湿度(50～60%)と室温(20℃～22℃)を保ち、換気を心掛けましょう。
- ②抵抗力をつける
 - ・バランスのとれた栄養と睡眠、休養を十分とりましょう。
 - ・適度な運動とこまめな水分補給を心掛けましょう。

インフルエンザにかかってしまったら

- ・早めに医療機関を受診し、保育所・園や学校、職場は休みましょう。
- ・病気がかかった後の登校や出勤の目安は、医師の指示を受けましょう。

「咳エチケット」を守りましょう

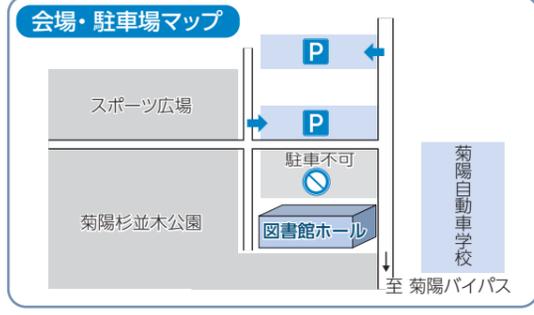
- ①咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- ②マスクは、鼻と口、あごを確実に覆い、隙間がないようにフィットさせて着用しましょう。
- ③鼻汁・たんなどを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、できるだけビニール袋などに包みウイルスが飛散ないようにしましょう。
- ④咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。咳エチケット用のマスクは、使い捨ての不織布製マスクを使用しましょう。

■問い合わせ
健康・保険課 保健予防係 ☎(232)4912

第4回認知症をもっと知ろう！ in 菊陽

若年性認知症の夫への16年にわたる介護体験を描いた、渡辺謙、樋口可南子主演映画「明日の記憶」(2006年公開)のモデルとなった越智須美子さんが『道しるべ「若年性認知症本人の思い 家族の想い」』と題し、講演します。ぜひお越しください。

- 日時 3月8日(土) 開場：午後1時
午後1時25分～午後3時30分
 - 場所 菊陽町図書館ホール
 - 内容 道しるべ
「若年性認知症本人の思い 家族の想い」
講師：越智 須美子さん
- ※入場料無料、申込不要です。



越智 須美子さん
昭和27年10月15日福岡県宮若市生まれ。24歳の時に、越智俊二さんと結婚。3人の娘さんが誕生する。45歳の時にリサイクルショップを始めるが、俊二さんの介護のためにホームヘルパーの資格を取得。夫婦で講演活動を始める。2009年俊二さんが他界した後も、若年性認知症啓発のため各地で講演活動をする。
著書：『あなたが認知症になったから。あなたが認知症にならなかったら。』

■問い合わせ 介護保険課 介護予防係 ☎(232)2366